

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日) 10:30	
コート	Dコート	第2試合
カテゴリー	男子	準決勝
主審	大久保 好純	
第1副審	皆川 太郎	
第2副審	佐多 裕樹	

TEAM A			TEAM B		
瓊浦	77		73	祐誠	
長崎3位				福岡3位	
○				●	

12	1st	17
21	2nd	12
11	3rd	22
20	4th	13
13	OT	9

【BOXスコア】

TEAM A		瓊浦高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	松村 凱士貴	0					
5	西野 浩史	◎ 11		5	1	3	
6	片岡 耕介	○ 5		2	1	2	
7	寺崎 廉	4		2		1	
8	前川 浩人	0					
9	宇野 秀太	0					
10	岩崎 海凧人	○ 4		2		3	
11	松村 生	0					
12	山田 薫	0					
13	寺島 憧	0					
14	高比良 舜	0					
15	ンゲンザ アーノルド	○ 14		4	6	3	
16	江頭 永遠	0					
17	喜多 伊総	○ 32	1	5	19	1	
18	中川 英士	7		2	3	1	
コーチ	埴生 浩二						
合計		77	1	22	30	14	

TEAM B		祐誠高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	時川 司	◎ 24	2	7	4	2	
5	永富 真佑	○ 13		4	5	5	
6	松尾 若将	0				4	
7	松尾 海飛	○ 2		1		4	
8	阿部 孝大	0					
9	隈本 尚輝	0					
10	東野 泰士	0					
11	立木 広大	2		1		2	
12	福嶋 章悟	14	2	4		2	
13	長田 将	0					
14	吉岡 勇哉	10		4	2	2	
15	平井 駿輔	○ 6		2	2	5	
16	西川 凌央	0					
17	竹嶋 健人	○ 2		1		4	
18	東野 友哉	0					
コーチ	三笠 富洋						
合計		73	4	24	13	30	

【戦評】

Bパート準決勝、瓊浦対祐誠の対戦。第1Q祐誠は序盤からミドルシュートを高確率で決めていき、ゲームの主導権を握る。対する瓊浦は#15を起点にゲームを展開しようとするが、祐誠にゴール下を絞られミスが続く。残り2分で祐誠#4が速攻からレイアップを決め17-10、瓊浦がタイムアウト。瓊浦はディフェンス2番のオープンスタンスをよりボールマンに集中させ、ペイントへの侵入を阻止。第1Q17-12で祐誠5点リード。第2Q瓊浦はハイピックからギャップを狙おうとするが、祐誠の強固なディフェンスに阻まれターンオーバーが続き、祐誠は序盤からレイアップで得点を重ねていき、開始2分で差を2ケタにする。ここで瓊浦は2-3ゾーンにし、ディフェンスのリズムを変えようと試みる。祐誠はゾーンディフェンスに攻めあぐね、残り2分30秒で27-27の同点に追いつかれ、祐誠タイムアウト。しかし瓊浦の勢いは止まらず、33-29で瓊浦が4点リードで前半終了。第3Q瓊浦はゾーンを継続、祐誠はゾーンにアジャストし始め開始2分で35-35の同点に追いつく。第3Q終盤まで一進一退の攻防が続いたが、祐誠の#4のスリーポイントを口火に流れが祐誠に。51-44で祐誠が7点リードで第3Q終了。第4Qは開始2分まで点数に動きがなかったが、祐誠の2本連続で速攻が決まり、瓊浦がタイムアウト。瓊浦は#5、#15で得点を重ねていき、さらに祐誠のファールトラブルにより、流れが瓊浦に傾く。瓊浦の選手は冷静かつアグレッシブにディフェンスをし、スティールから得点を重ねる。祐誠はファールがかさみ、残り22秒祐誠2点リードで瓊浦ボール。#5のシュートからのリバウンドボールを#17が獲得し、ファールをもらいフリースロー。落ち着いて2本とも沈め、延長戦へ突入。お互いに譲らない展開となったが、最後は瓊浦#5のレイアップが決まり、77-73で瓊浦の勝利。両チームともお互いの戦術に対応し、盛り上がりのあるゲームとなった。

【戦評記者】 貞包 謙
福岡県バスケットボール協会